

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2018年7月更新

インフルエンザ HA ワクチン

【このワクチンの名前は？】

販売名	インフルエンザ HA ワクチン「生研」 Influenza HA Vaccine “SEIKEN”
一般名	インフルエンザ HA ワクチン Influenza HA Vaccine

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報は PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。

※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- ・ このワクチンは、次の目的で接種されます。

インフルエンザの予防

- ・ このワクチンの接種によりインフルエンザウイルスに対する抗体ができ、かかりにくくなります。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 明らかに発熱（通常 37.5℃以上）している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人
 - ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適切な状態にあると判断した人

- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
 - ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
 - ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
 - ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
 - ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
 - ・ 間質性肺炎や気管支喘息などの呼吸器の病気がある人
 - ・ このワクチンに含まれている成分に対してアレルギーをおこすおそれのある人
 - ・ 鶏由来のもの（鶏卵や鶏肉など）にアレルギーをおこすおそれのある人
 - ・ 高齢の人
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- すでに生ワクチン*の接種を受けている場合、生ワクチン接種4週間後からこのワクチンを接種できます。すでに不活化ワクチン*の接種を受けている場合、不活化ワクチン接種1週間後からこのワクチンを接種できます。

*生ワクチン、不活化ワクチンの詳細は巻末をご覧ください。

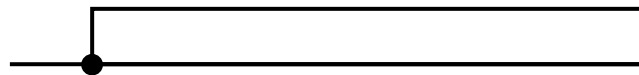
【このワクチンの接種スケジュールは？】

● 接種量および回数

年齢	1回量	接種回数
6ヶ月以上3歳未満の人	0.25mL	2～4週間間隔で2回接種
3歳以上13歳未満の人	0.5mL	2～4週間間隔で2回接種
13歳以上の人	0.5mL	1回 または1～4週間間隔で2回接種

[定期接種¹]

- ・ 65歳以上の人
- ・ 60歳から64歳の人で以下の人
 - ・ 心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限されている人
 - ・ ヒト免疫不全ウイルス（HIV）で免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な人



60歳

毎年1回

- ・ 個人によって接種スケジュールが異なる場合があります。
- ・ このスケジュール中に、接種を受けられなかった場合は医師に相談してください。

[任意接種ⁱⁱ]

- ・ 希望される場合には医師に相談してください。

i 定期接種：予防接種法で定められた予防接種を、決められた年齢で受ける場合

ii 任意接種：予防接種法で定められていない予防接種や、定期接種で定められた年齢から外れて受ける場合

- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
- ・ 接種後は健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 接種後に、アナフィラキシー（皮膚のかゆみ、じんましん、息苦しい、どろろき、意識の低下など）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、すぐに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- ・ このワクチンはチメロサル（添加物）を含んでいます。チメロサルを含む製剤で、過敏症（発熱、発疹、じんましん、紅斑、かゆみなど）があらわれたとの報告があります。これらの症状があらわれたら医師の診察を受けてください。
- ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師、薬剤師または看護師に伝えてください。

副反応は？

特にご注意ください重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
急性散在性脳脊髄炎（ADEM） きゅうせいさんざいせいのうせきずい いん（アデム）	頭痛、発熱、嘔吐（おうと）、意識が混濁する、目がみえにくい、手足が動きにくい、歩きにくい、感覚が鈍い
脳炎・脳症 のうえん・のうしょう	発熱、頭痛、まひ、意識が混濁する、歩行時のふらつき、口のもつれ、もの忘れ、動作が鈍い
脊髄炎 せきずいえん	発熱、うなじの硬直、両足のまひとしびれ、背中や腰の痛み、排尿感覚がなくなる
視神経炎 ししんけいえん	眼の痛み、眼球を動かすと痛い、片眼又は両眼の視力が突然下がる
ギラン・バレー症候群 ギラン・バレーしょうこうぐん	腹痛、下半身が動かない、指先のしびれ、足の尖（さき）の感覚がなくなる、歩行困難
けいれん	けいれん
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
喘息発作 ぜんそくほっさ	ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい、息切れ
血小板減少性紫斑病、 血小板減少	鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血、あおあざができる、出血が止まりにくい


けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう、けっしょうばんげんしょう	
血管炎（I g A血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破碎性血管炎等） けっかんえん（アイジーエーけっかんえん、こうさんきゅうせいいたはつけっかんえんせいにくげしゅしょう、はつけきゅうはさいせいけっかんえんとう）	ヒューヒューと音のする呼吸、手足のしびれ、発熱、関節痛、皮下出血によるあざ、からだに赤紫のあざが出現、じんましん
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
皮膚粘膜眼症候群（ステューブンス-ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	全身の著明なむくみ、尿量が減る

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、発熱、感覚が鈍い、けいれん、関節痛、高熱、全身の著明なむくみ
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛、意識が混濁する
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼のまわりのはれ、目がみえにくい、眼の痛み、眼球を動かすと痛い、片眼又は両眼の視力が突然下がる、白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ

口や喉	口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、嘔吐（おうと）、吐き気、ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音がする、歯ぐきの出血、ヒューヒューと音のする呼吸、から咳、うなじの硬直、ひどい口内炎、唇や口内のただれ
胸部	息切れ、息苦しい、動悸（どうき）、吐き気
腹部	腹痛、食欲不振、吐き気
背中	背中や腰の痛み
手・足	手足が動きにくい、歩きにくい、下半身が動かない、指先のしびれ、足の尖（さき）の感覚がなくなる、歩行困難、手足のしびれ、歩行時のふらつき、両足のまひとしびれ
皮膚	じんましん、かゆみ、皮膚が黄色くなる、皮下出血、あおあざができる、皮下出血によるあざ、からだに赤紫のあざが出現、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる、排尿感覚がなくなる、尿量が減る
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい、まひ、口のもつれ、もの忘れ、動作が鈍い、陰部の痛み

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	澄明又はわずかに白濁した液剤

写真はほぼ原寸大です。

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	A／シンガポール／GP1908／2015(H1N1)pdm09 A／シンガポール／INFIMH-16-0019／2016(H3N2) B／プーケット／3073／2013(山形系統) B／メリーランド／15／2016(ビクトリア系統)
添加物	ホルマリン、チメロサル、塩化ナトリウム、リン酸水素ナトリウム水和物、リン酸二水素カリウム

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師や薬剤師、看護師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：デンカ生研株式会社 学術営業推進部

電話 03-6214-3231

<http://denka-seiken.jp>

【参考】 このワクチンの接種を受ける前に他のワクチンを受けている場合

- 生ワクチンを受けている場合は、27日以上間隔を空けてこのワクチンを接種します。

生ワクチンとは	ワクチンの例
病原体となるウイルスあるいは細菌の毒性を弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られたワクチンです。	BCG、麻しん風しん混合（MR）、麻しん、風しん、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、経口ロタウイルス、黄熱

- 不活化ワクチンを受けている場合は、6日以上間隔を空けてこのワクチンを接種します。

不活化ワクチンとは	ワクチンの例
病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせた（不活化、殺菌）ものを原材料として作られたワクチンです。	不活化ポリオ、ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ（DPT-IPV）四種混合、ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）三種混合、ジフテリア・破傷風（DT）二種混合、破傷風トキソイド、ジフテリアトキソイド、日本脳炎、インフルエンザ、インフルエンザ菌b型（Hib）、肺炎球菌（13価結合型）、ヒトパピローマウイルス（HPV）、A型肝炎、B型肝炎、肺炎球菌（23価多糖体）、狂犬病、髄膜炎菌